

組織的な学校運営に関する実践研究

1. 事業の実施報告

(1) 実践研究のねらい

近年、社会の価値観の多様化や地域や家庭の教育力の低下、学習指導要領の改訂への対応など、学校の業務が一層増加する中で、教師が子どもと向き合う時間を確保し、本来の教育活動を十分行えるよう、外部の知見を活用し、新たな視点で学校運営の見直しを図るため、実践協力校における業務改善に向けた実態調査、改善策の策定・実践に取り組むほか、その成果の普及を図るものである。

(2) 実践研究の実施状況（21～22年度の2カ年継続事業）

① 21年度実施分

学校を取り巻く背景・環境は学校毎に異なり、取り組むべき課題・解決方法もそれぞれ異なることから、実践協力校7校において、校内に業務改善グループをつくり、経営コンサルタント（産業能率大学）のノウハウを活用しながら、教員の負担感が大きい業務についてアンケート・ヒアリング調査により洗い出した上で、自ら課題を設定し、改善策を策定した。

- ・ 実践協力校各校でのヒアリング（訪問による聞き取り調査）及びアンケート調査（質問紙による調査）
- ・ 調査結果の集計と分析
- ・ 現状把握、課題整理
- ・ 原因・関連探求等
- ・ 改善策具体化に向けた計画化

② 22年度実施分

ア 改善策の実践、見直し

各実践協力校は、21年度に策定した具体的な改善策を実践し、その過程で、経営コンサルタント（産業能率大学）から専門的な指導・助言を受けながら、必要に応じて見直しを行った。

イ 実践事例集の作成・配布

実践協力校各校の取組の成果を踏まえた実践事例集を作成し、県内の全学校に配布した。

ウ 管理職研修会の開催

実践協力校各校の取組の成果を踏まえ、全学校の管理職を対象に、効率的な学校運営の在り方等に関する研修会を実施した。

日時	場所	出席人数
平成23年1月6日	八戸会場「グランドサンピア八戸」	217名
1月7日	むつ会場「来さまい館」	54名
1月12日	弘前会場「岩木文化センター あそべーる」	207名
1月13日	青森会場「県総合学校教育センター」	148名

2. 実践研究の成果

(1) 実践協力校の取組内容

学校名		取組内容
小学校	青森市立大野小学校	作成・提出文書に係る負担軽減
	三沢市立三沢小学校	会議の考え方・在り方の見直し
中学校	青森市立佃中学校	会議の持ち方の見直し
	弘前市立第二中学校	保護者との協働体制の確立
県立 学校	県立弘前中央高等学校	校務分掌関係(分掌間連携と分掌間の見える化)ほか
	県立六戸高等学校	構造的生徒指導計画の作成
	県立八戸第一養護学校	会議の精選等

(2) 効果等

<要点>

実践協力校の7校では、「作成文書の見直し」、「会議の精選」、「生徒指導上の対応」や「保護者との協働体制」等に取り組み、時間の短縮や教員の負担軽減などにある程度の効果があった。

その実践協力校の成果や実践に至るまでのプロセスを事例集にまとめ、平成23年1月、管理職研修会を県内4会場で開催し、管理職に対して意識啓発を図った。

研修会後のアンケートでは、「自校の見直しをする良い機会になった。」や「自校が抱える問題解決の手法が見えてきた。ヒントが得られた。」という意見も多くみられ、今後の教員の負担軽減につながるものと期待される。

(参考)

アンケートで「有意義だった」と回答した理由（上位5つ）
・ 自校の見直しをする良い機会になった。
・ 趣旨が理解できた。
・ マネジメント上役立つ内容であった。
・ 実践協力校の事例が参考になった。
・ 業務改善を行うための手法・ノウハウが理解できた。
・ 自校が抱える問題解決の手法が見えてきた。
・ 解決方法を模索している最中であり、ヒントが得られた。
・ 自校の課題に当てはまる事例があり、実践協力校の解決策が参考になった。

3. 今後の取組予定

23年度以降は、県総合学校教育センターにおいて、新任の校長及び教頭研修講座の中で管理職マネジメントの講義を行い、普及啓発を継続する予定。

○学校運営改善実践事例集

I 事業の概要

- 1 事業の目的と概要
- 2 事業の実施内容
- 3 事例集の活用方法
・困ったときの早わかり図

II 実践協力校各校の取り組み

- 1 青森市立大野小学校
「作成・提出文書に係る負担軽減」
- 2 三沢市立三沢小学校
「会議の考え方・在り方の見直し」
- 3 青森市立佃中学校
「会議の持ち方の見直し」
- 4 弘前市立第二中学校
「保護者との協働体制の確立」
- 5 県立弘前中央高等学校
「校務分掌関係（分掌間連携と分掌間の見える化）ほか」
- 6 県立六戸高等学校
「構造的生徒指導計画の作成」
- 7 県立八戸第一養護学校
「会議の精選等」

III 事業を進めるにあたって用いた手法（産業能率大学総合研究所）

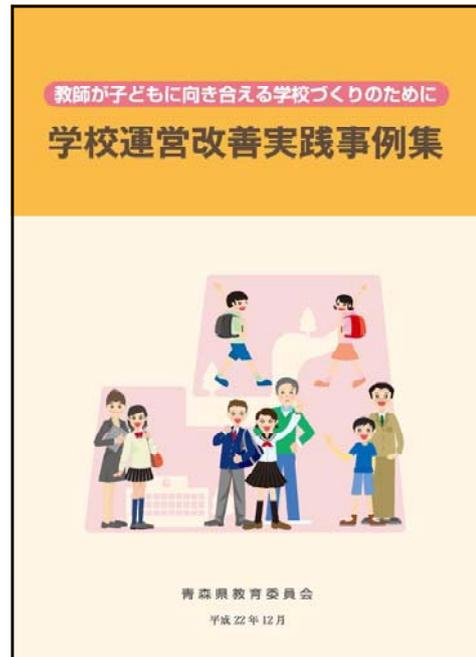
- 1 手法の選定やプロセス設計にあたっての基本的な考え方
- 2 取組を進めるにあたって使用した各手法
 - 2-1 状況構造化図（リッチピクチャー）
 - 2-2 学校の役割の探索
 - 2-3 ポジショニングマップ
 - 2-4 関連図法
 - 2-5 ブレーンストーミング法
 - 2-6 親和図法
 - 2-7 計画化
 - 2-8 計画の実践と評価・見直し

参考 アンケート調査票

- 3 事業の実施状況

IV 参考資料

県教育委員会が実施する調査文書等の見直しについて



(参照) 青森県教委「学校運営改善実践事例集～教師が子どもに向き合える学校づくりのために～」

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kaizenjirei.html>